

広島市立己斐上中学校 第2学年「美術科」 シラバス

学年の目標

- (1) 主体的に美術の活動に取り組み、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を深める。
- (2) 対象を深く見つめる力、感性や想像力を一層高め、独創的、総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を工夫し想像的に表現する能力を伸ばす。
- (3) 自然・美術作品や文化遺産などについての理解や見方を深め、心豊かに生きることと美術とのかかわりに関心を持ち、よさや美しさなどを味わう鑑賞能力を高める。

月	学習内容(時数)	学習ねらい
4	オリエンテーション 【1】	・ 美術の領域とその作品、作家を知り、中学校での美術課題を見つけ意欲的に取り組むことができる。
5	1 日本の美術と伝統 鑑賞① 【1】 「阿修羅像」	・ 「阿修羅像」の表現や腕のしぐさ、色彩などがもたらす感情や、特徴から特徴を捉えたイメージを基に、作品に対する自分の価値意識をもって意見をもち鑑賞能力を養う。 ・ 造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫、主題と表現方法の選択や材料の生かし方などを感じ取り、自分の考えをもって鑑賞する。
6	2 わかりやすく伝えるデザイン 【10】 デザインの広がり 1. 観察画 2. デフォルメ 構成美の要素 3. 下書き 4. 彩色	・ 用具、材料の特性を考え、目的に合った技法を効果的に使用し、創造的に構成することができる。 ・ 野菜や果物の造形的な要素を観察し、感じ取った形や色彩の特徴や美しさ、考えたことを基に主題を生み出す。 ・ 観察画をデフォルメの技法を理解し構成する。 ・ 形や色彩の効果を生かして単純化や省略、強調、材料の組み合わせを考え、創造的な構成、構想を練ることができる。 ・ 美しい配色やイメージに合った配色を意図的に工夫し、創造的に表現できる。
7	3 ポスターのデザイン 鑑賞② 【4】 導入、アイデアスケッチ、レタリング	・ ポスターの目的、機能、効果的な制作手順について理解する。 ・ デザイン用具を正しく使い、表現方法の特性など理解して正確に文字をデザインできる。 ・ 美しい配色やイメージに合った配色を意図的に色を混色して彩色できる。
9	4 時代を映す美術 鑑賞③ 【5】 近代美術とゲルニカ/ピカソ 1. 作品鑑賞 シュルレアリズム 2. 鉛筆と模写	・ 時代や社会とのかかわりに目を向け、20世紀美術の魅力を味わい、作品を鑑賞する。 ・ ピカソの生涯と当時の世界の美術の流れや変化を学習し、美術作品の変化について意見を言うことができる。 ・ 質感表現や部分、全体のとらえ方を理解する。 ・ 資料を観察し、背景等の画面全体を意識した構図で構成を練って模写する。 ・ 友人の作品を鑑賞し、お互いに評価して高め合える。
10	5 版のよさをいかして 【8】 独創的な版画 一版多色版画 1. アイデアスケッチ 2. リピテーション 3. 版作り (線彫り) 4. 刷り	・ 版画作品に理解を深め、親しみをもって作品作りに取り組み、材料や用具などを主体的に生かし、表現方法を工夫する。 ・ 版画の種類や版木、用具の使い方を理解する。 ・ 構想、構成を工夫し、イメージを膨らませて想像したことをスケッチすることができる。 ・ リピテーションの技法を取り入れ、版表現の多様性に興味を持って刷りの効果を生かす工夫を考えながら版で表す。 ・ 版の性質や材料、技法の特徴を生かし、三角刀を正しく使って線の強弱を工夫して版作りができる。 ・ 彫刻刀の機能を生かし、正しい姿勢で安全に彫ることができる。 ・ 美しい配色やイメージに合った配色を意図的に絵の具を混色して色作りができる。 ・ 友人の作品を鑑賞しお互いに評価し高めあえる。
2	6 観察して描く 【6】 1. 鑑賞④ 2. 観察画 / 法則で描く	・ 幾何形体のモデルの特徴を観察して描くことができる。 ・ 法則を使って図形を立体的に描くことができる。 ・ 立体図の奥行きを理解し、法則を使って正確に図形を立体的に描くことができる。

評価の方法

- ① 美術への意欲、関心、態度 ----- 定期テスト、授業の様子、制作表、忘れ物、提出物の状況などで評価
- ② 発想や構想の能力 ----- 定期テスト、アイデアスケッチ、作品の配色決め、作品の構成などで評価
- ③ 創造的な技能 ----- 定期テスト、作品のオリジナリティー、色作り、完成度などで評価
- ④ 鑑賞の能力 ----- 定期テスト、観察画、作品鑑賞の感想文、鑑賞メモ、制作表、などで評価